

事業概略書

事業名	精神障害者の心理的危機に対する早期対応や危機介入方法の普及と教育効果に関する検討
事業目的	こころの病気にあるものへ対応する家族や身近のもの、地域精神保健に関わる地域住民のこころの病気と早期対応の技法への理解や習得は十分ではなく、困難を抱えていることが少なくない。本事業では、こころのサポーターの養成のため、メンタルヘルス・ファーストエイド等の介入法や教育法を参照し、広く国民が自由に活用できるような、約2時間程度のメンタルヘルスの知識と対応に関する双方向性の教育モデルを構築し、地域での試行的な取り組みを行うことと、教育効果の簡易的検証や教育に従事する可能性のある精神保健従事者への意見収集も行うことを目的とした。
事業概要	本事業では「小さな力で大きな心の輪を！（知識（ちしき）、意識（いしき）、サポート、仲間（なかま）、力（ちから：エンパワー）、おおきな心（こころの輪をひろげましょう）」というこころのサポーター養成の教育モデルを導入した。偏見や差別を防ぐ内容や、基本知識を取り上げ、支援の基本姿勢、支援的なかわりを骨子とした。新型コロナウイルス問題やアクセスの問題などで必ずしも教育プログラムを享受できない対象に対する、オンラインや遠隔での教育モデルの開発も試行的に行った。そして、研修参加者や地域精神保健従事者に対し、開発したプログラムについての意見を求めた。
事業実施結果及び効果	本事業により、MHFAを参照にして、こころの病気への偏見を防ぎ、基本的知識や基本姿勢、対応・支援方法の教育モデルを構築し教育資材を開発した。そして、こころの健康に対する理解や支援と対応についての普及啓発体制のモデル構築を行った。また、教育プログラムの開発により精神障害への偏見除去や地域でのこころの健康に関する理解向上のための基盤を整備した。研修について、参加者や従事者の意見を求めプログラムを改訂した。内容は参加者には概ね理解しやすい内容であった。本事業の取り組みについての論文発表や広報活動等による公表および関連団体等での周知を行った。
事業主体	郵便番号：028-3694 所在地：岩手県紫波郡矢巾町医大通一丁目1番1号 法人名：学校法人 岩手医科大学 電話番号/E-MAIL：019-613-7111(内線 2015)/ saigaisei@iwate-med.ac.jp

(注)

- 1 本様式の作成にあたっては、厚生労働省ホームページに掲載するため、一般に公開することを想定し、分かりやすい表現に努めること。
- 2 本様式は、事業の概略をまとめるために作成するものであり、別途実施した事業についての成果物を必ず提出すること。
- 3 「事業目的」、「事業概要」、「事業実施結果及び効果」について、それぞれ250字程度で簡潔に記入すること。